詳細は http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/をご覧ください。 三重県議会 検索

申し合わせにより決められた議員の一般質問の一部を掲載しています。

南紀みかん産地拡大宣言を踏まえた輸出産地づくり

藤根　正典　議員
新政みえ
熊野市・南牟婁郡選出

問　柑橘輸出は、平成26年度までは順調に増加してきましたが、平成27年度から検疫条件が強化されたことを機に一時、輸出量が減少しました。そこで、南紀みかんを次世代につなぎ、匠の技を持つ農家や情熱にあふれる若者がけん引していく「南紀みかん産地拡大宣言」を踏まえ、日本一の輸出対応産地を目指すため、今後、どのような取り組みを進めていくのか、お聞かせください。

答　タイ王国への輸出拡大と新たな流通体制の構築、これらを支える生産体制の整備に取り組むことを確認した同宣言を踏まえ、国とタイ王国に検疫条件の緩和を要請したほか、アジア圏への販売ルート構築に取り組んでいます。今後は、みかん園の再整備等に取り組み、生産性の高い産地づくりにつなげます。

柑橘選果場における日・タイ合同検査

その他の質問事項
○熊野古道世界遺産登録15周年を活かした観光振興について
○防災に関する協定の具体化について　ほか

▲一般質問（藤根正典 議員）

Jリーグクラブ誕生に向けて

木津　直樹　議員
自由民主党県議団
伊賀市選出

問　平成30月11月に、「Jクラブ誕生とスタジアム建設を推進する県民会議」の第一回会議が開催され、いよいよ本県にJクラブ誕生かと、期待が膨らみますが、Jリーグ規格のスタジアムとなるとハードルも高く、財政的にも相当の覚悟が要ります。これからは県民会議を中心に、オール三重で取り組むことが不可欠で、県も最大限の支援が必要と思います。そこで、県としての考えをお聞かせください。

答　現在、県内では3チームがJリーグをめざしていますが、福井国体では、国体サッカー競技初の総合優勝をするなど、本県の活躍は非常に勢いを増しており、県民の皆さんが応援する機運も盛り上がりつつあります。県としても、Jリーグチーム誕生に向けて「官民一体」「オール三重」で取り組めるよう、引き続き関係の皆さんと連携を図ってまいります。

その他の質問事項
○三重県の農業政策について
○伊賀地域のインフラ整備について　ほか

▲一般質問（木津直樹 議員）

大学生のU・Iターン就職に係る取組について

日沖　正信　議員
新政みえ
いなべ市・員弁郡選出

問　大学生が県内への就職を考える上で「企業の選択肢が少ない」「自分の希望する企業がない」などの先入観やイメージを持っていると感じます。まずは、そのような意識を変えてもらうことが必要だと思います。三重県へのU・Iターンに意識を向けていただくため、特に就職支援協定を結んでいる大学の学生に対して、どのように取り組んでいるのか、お聞かせください。

答　協定締結校の本県出身学生には、メールマガジン等で県内企業のインターンシップ等の情報を発信し、また、大学との情報共有を通じ、学生の意向や就職活動の実態を把握することで、U・Iターン就職の施策展開につなげています。今後も、県内企業の魅力発信や働き方改革の促進、協定締結校の拡大等に取り組んでまいります。

その他の質問事項
○介護人材不足の実態把握と、人材確保への取組について
○⑦成年後見制度利用促進への県の役割について　ほか

▲一般質問（日沖正信 議員）

幹線道路国道306号整備について

服部　富男　議員
自由民主党県議団
三重郡選出

問　平成30年10月に四日市湯の山道路が完成し、また、近々に新名神高速道路が新四日市JCTから亀山西JCTまで供用開始になる見込みです。そうなれば、近接する国道306号は、幹線道路として非常に重要になり、災害時は物資を輸送する上で大事な拠点を結ぶ経路になると思います。そこで、今後、国道306号の整備をどのように考えていくのか、お聞かせください。

答　今年度末には、新名神高速道路や東海環状自動車道の一部区間の開通により東名阪自動車道や国道306号の交通量が変化することが想定されます。

このため、開通後の国道306号の交通量調査を継続的に実施して、大型車を含めた利用状況を確認していきます。

その他の質問事項
○鈴鹿国定公園の環境保全整備について
○朝日町における交番設置について　ほか

▲一般質問（服部富男 議員）

平成29年台風第21号による伊勢市の浸水対策推進を

中村　進一　議員
新政みえ
伊勢市選出

問　平成29年10月に伊勢市が台風第21号による大きな被害を受けてから1年が経過しました。昭和49年の七夕豪雨を大幅に超える累積雨量であったようですが、近年、頻発する異常気象を考えると早急な対応が必要です。県は、国・市と設立した「勢田川流域等浸水対策協議会」において、「勢田川流域等浸水対策実行計画」を策定し、取り組んでいますが、その進捗状況や対策についてお聞かせください。

台風直後の伊勢市内の様子

答　台風第21号と同規模の降雨に対する床上浸水の解消を目標に「勢田川流域等浸水対策実行計画」を平成30年6月に策定しました。この中で、桧尻川での暫定河道掘削の1年前倒しや汁谷川の河川整備計画の平成31年度の策定等を行うとしています。今後も国や伊勢市と連携して、浸水被害の軽減に努めてまいります。

その他の質問事項
○⑧社会的養護の必要な子どもへの支援について
○⑨マイクロプラスチック対策について　ほか

▲一般質問（中村進一 議員）

用語解説

1 指定管理者制度
地方公共団体が管理・運営している公の施設について、民間事業者等に管理させることによって、そのノウハウ等を活用し、住民サービスの質の向上を図る制度のことです。

2 IR
Integrated Resortの略で、地方自治体の申請に基づき設置される、カジノやホテル、ショッピングモールなどの商業施設や観光施設などを一体化した複合観光集客施設のことです。

3 日米地位協定
日本国内に駐留する米軍人やその家族の出入国や租税、刑事裁判権や民事請求権などとともに、米軍の施設の地位について定めた協定のことです。

4 教育機会確保法
不登校児童生徒に対する教育機会の確保や夜間中学における就学の機会の提供等、義務教育の段階における教育機会の確保等を総合的に推進することを目的とする法律です。この法律では、国や地方公共団体の責務を明らかにするとともに、基本方針の策定やその他の必要な事項等について定めています。

5 KUMINAOSHI
みえ産業振興ビジョンの基本理念で、いわゆる「組み直す」ということではなく、新たなものを積極的に取り込み、それらを組み合わせたり繋ぎ直したりすることで、「新しい価値」を生み出していくという考え方です。

6 コンプライアンス
一般的に「法令遵守」と訳されますが、三重県庁においては、「法令や社会規範、ルール、マナーを遵守するとともに、公正・誠実に職務を遂行し、説明責任を果たすことによって、県民の皆さんの信頼に応えていくこと」としています。

7 成年後見制度
認知症、知的障がい、精神障がい等の理由で判断能力が十分ではない方について、本人の権利を守る援助者を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。具体的には、判断能力が不十分な方について、家庭裁判所によって選ばれた成年後見人等が、本人を代理して契約の締結をしたり、本人が不利益な契約を締結した場合にそれを後から取り消すことなどにより、本人を保護・支援します。

8 社会的養護
保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うことです。

9 マイクロプラスチック
海洋などの環境中に拡散した微小なプラスチック粒子のことで、生態系に影響を及ぼすことが懸念されています。マイクロプラスチックには、海洋を漂流するプラスチックごみが紫外線や波浪によって微小な断片になったものなどがあります。

一般質問の中に掲載しているQRコードをスマートフォン等で読み取っていただくと、それぞれの質問者の録画配信をご覧いただけます。